



賃上げと雇用の安定・最賃で地域の活性化  
S T O P 暴走政治！憲法いかし守れ！平和といのち  
**17 春闘 NEWS**

No. 6 • 2017/5/16

発行：宮城県春闘共闘／宮城県労連 TEL:022-211-7002  
〒980-0022 宮城県仙台市青葉区五橋 1-5-13

fax:022-211-7004

## ＝安心安全の医療・介護を！ 医療・介護従事者の大幅増員と労働環境改善を！＝

### 医労連 2017春のナースウェーブを実施



5月13日(土)、宮城県ナースウェーブ実行委員会（宮城県医労連などで構成）は、「安心・安全の医療・介護の実現のため」に、医療・介護従事者の増員や過酷な夜勤交替勤務の改善などを訴え、署名活動を行う春のナースウェーブを実施しました。ナースウェーブは1989年に始まり、春と秋の2回行われ、春は「看護の日」にあたる5月12日前後に毎年実施されています。

午前中は戦災復興記念館にて、日本医労連の三浦宣子書記長を招いて医師・看護師不足の実態と署名の取り組みの意義についての学習会を行いました。午後からはフォーラス前にて、約70名が参加し署名・宣伝を行いました。ハンドマイクで「夜勤終わって7時間後にまた夜勤」「政府が夜勤の十分な体制があると認めた病院でも1人あたり15~25人の患者さんを看ないといけない」などの医療・介護現場の実態を訴えながら、800個のチラシ入りティッシュを配布し440筆の署名を集めました。仙台放送、河北新報、新聞赤旗が取材に訪れました。